

タイトル	クヌギ等成熟林の薪利用	
概要	<p>○萌芽更新作業がなされていないクヌギ造林を伐採し、大径木を薪の生産に活用する。 ○大径のて梢など適寸部分での椎茸用原木の生産を行う。</p> <p>○照葉樹林の薪利用伐採を行い下層植生の維持を行っている。</p>	
管理方法・技術的視点	<p>過去に盛んであった椎茸原木生産のために植林されたコナラやクヌギなどの放置広葉樹林から「薪」をつくり、地域資源として「美馬薪」のブランド化を推進している。また、環境配慮型木製プランター「移動ばたけ」を企画しオーダーメイドで販売しながら、様々なイベントに積極的に参加し地域の産業振興を通じて情報の発信や持続できる森林の普及啓発に努めている。</p> <p>薪の品質評価としては、吉野川(美馬)流域林業活性化センターとの連携の下、美馬の薪の燃焼実験を行い安全性を検証。主に使用されている樹種は、コナラ・アラカシ・クヌギ・アベマキの4種類で、アセビは毒性が強いので薪としては取り扱いしていない。その他、薪の主要樹種ごとの燃焼時間測定試験や焼却灰中のダイオキシン類濃度測定試験も実施している。</p>	
備考	<p>美馬地域はかつて吉野川の水運により徳島市への薪炭供給がされていた。燃料革命後、里山林利用が減少し、クヌギ造林も500haに達しているが高齢化により萌芽更新作業も減少している現状。未利用資源の有効活用策と位置付け、取り組まれている。</p>	<p>マスコットキャラクターやロゴも設定し、一般への普及啓発にも努めている</p>
場所・主体	<p>徳島県美馬地域 みま薪ネットワーク みまもり隊・吉野川(美馬)流域林業活性化センター</p>	
URL等	<p>http://www11.ocn.ne.jp/~mimamori/index.html</p>	



みまもり隊マスコットキャラクター
みまっきー